

新城市無形民俗文化財

第36回

新城歌舞伎



演目

口上
磯原慶香

◆第一幕

弁天娘女男白浪
浜松屋
見世先の場
鳥原歌舞伎

◆第二幕

弁天娘女男白浪
稲瀬川
勢揃いの場
鳥原こども歌舞伎

◆第三幕

戦国天正合戦絵巻
長篠・設楽原戦記
鳥居強右衛門
磔の場
山・白子歌舞伎

令和7年

11/16日



新城市制20周年記念
長篠設楽原の戦い450年



開場10:30 開演11:00
終演14:30(予定)

新城文化会館 大ホール

【全席自由・税込】一般1,000円 高校生以下無料

8月23日(土)発売開始 AM10:00~

新城文化会館……………0536-23-2122
ピアゴ新城店……………0536-23-3111

お問い合わせ

新城文化会館 ☎ 0536-23-2122

8:30~
17:00

〒441-1381 愛知県新城市字下川1-1 <https://www.shinshiro-bunka.jp/>
*休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日)

主催/新城市・新城市教育委員会 主管/新城地域文化広場・新城歌舞伎実行委員会

アクセス

- 公共交通機関でお越しの場合:JR飯田線新城駅から徒歩10分
- 車でお越しの場合:新東名高速道路「新城」ICより10分、東名高速道路「豊川」ICより20分、豊橋より50分
- 駐車場のご案内:駐車場180台



当日のご案内

◆十時三〇分

開場

◆十二時〇〇分

市長挨拶

口上

磯原慶香

◆十二時二〇分

第一幕

弁天娘女男白浪

（浜松屋

見世先の場）

鳥原歌舞伎

◆十二時二〇分

休憩

◆十二時四〇分

第二幕

弁天娘女男白浪

（稲瀬川

勢揃いの場）

鳥原子ども

歌舞伎

◆十三時〇〇分

休憩

◆十三時二〇分

第三幕

戦国天正合戦絵巻

長篠・設楽原戦記

（鳥居強右衛門

礫の場）

山白子歌舞伎

第一幕

弁天娘女男白浪

（浜松屋見世先の場）

舞台は鎌倉の呉服店浜松屋。

文金高島田に振袖姿の美しい娘が、若いお伴を連れ婚禮の衣装を誂えにやってきました。ところが、娘の仕草を万引と勘違いした店の者が娘を取り囲みそろばんで娘の額に傷をつけてしまします。嫁入り前の娘を万引き呼ばわりされた上、額を傷つけられたことに怒ったお伴の若者は、店に対し百両を要求。

店の信用に傷がつくことを恐れた浜松屋の主人幸兵衛がお金を出そうとしたところ、店の奥から玉島逸当（実は日本駄右衛門）という立派な武士が現れ、娘が男と見破ります。

ここで名台詞「知らざあ、言って聞かせやしょう」

開き直って素性を白状した娘、実は弁天小僧菊之助。お伴の若者は南郷力丸。日本駄右衛門を頭とする世間を騒がしていた五人組の賊の一味でした。

第二幕

弁天娘女男白浪

（稲瀬川勢揃いの場）

幸兵衛と宗之助が、ゆすりをはたらく二人を仲裁した玉島に礼をしようすると、玉島は実は日本駄右衛門だと正体をあらわし、「店の金を全部だせ」と脅します。そこへ、弁天小僧と南郷も押し入ってきますが、偶然にも浜松屋の主人の幸兵衛が弁天小僧の父の親で、浜松屋の養子の宗之助が日本駄右衛門の実子だということが判明し、一同は何も取ることなく、稲瀬川堤へと落ち延びます。ここで台詞耳に快く響く事を本位に、七五調の美文をつらね銘々の名乗りがあります。「志ら浪」と書かれた傘をさし、浜松屋で登場した日本駄右衛門、弁天小僧菊之助、南郷力丸のほか、忠信利平、赤星十三郎が派手な着物を着て取手に囲まれながら悠々と自己紹介をする名場面があります。

こうした臆面のなさが歌舞伎の醍醐味でもあります。

第三幕

戦国天正合戦絵巻 長篠・設楽原戦記

（鳥居強右衛門礫の場）

天正三年（一五七五年）五月、長篠城は三河に進出してきた一万五千の武田軍に取り囲まれ、兵糧蔵を焼かれ絶体絶命の危機に陥りました。城主奥平九八郎は徳川家康に援軍要請の使いを出すことにし、「鳥居強右衛門」がその命を受け、城を抜け出し雁峰山でのろしを上げることに成功しました。一方、見張りを続けている武田家臣の穴山梅雪は意外に粘る城の状態と、岐阜を發した織田軍の動きがつかめないことに焦りだします。

そんな折、岡崎城で使命を果たし帰ってきた鳥居強右衛門が穴山の陣所前を農民の格好をして通り過ぎようとし、怪しんだ番兵に捕まります。

強右衛門は穴山にどう答えるのか。

援軍は来るのか？来ないのか？

強右衛門と穴山のやり取り、武田軍大將勝頼の葛藤、強右衛門の決断、強右衛門の叫び……

地元で起こった史実をもとにして創られたオリジナル歌舞伎を演じます。

あなたも歌舞伎の舞台に立ちませんか

新城歌舞伎は江戸時代以降、幾度か中断すると言苦難の歴史の中で

現在若手中心とした活動をしています。楽しみと交流の場であった村の歌舞伎は長年に渡り先輩たちが築いてくれた「ふるさと新城」の大きな文化遺産となっており、この貴重な伝統文化を保存し、未来へ継承していくことが今を生きる私たちの責任です。少しでも歌舞伎に興味をお持ちの方、私たちと舞台に立ちませんか。子供から大人まで皆様のご参加をお待ちしております。

お問合せ 新城歌舞伎事務局 新城文化会館
053612312122